

帰国笹川医学研究者による教育講座運営支援事業

2011年度後期 研修生 報告書

●研修内容：産婦人科科、超音波科、麻酔科の各分野における最新医療情報・技術の習得

●研修期間：2011年8月～10月 3か月間

●研修者数：8名

1) 産婦人科分野.....2

指導教官：郭毅 中国医科大学附属第一病院 産婦人科 副教授
(笹川医学奨学金制度第28期研究者)

研修生：孔繁明 遼寧省宽甸中心病院 医師
趙艷紅 遼寧省喀左县第一人民病院 医師

2) 超音波科分野.....4

指導教官：闕艷紅 中国医科大学附属第一病院 超音波科 副教授
(笹川医学奨学金制度第29期研究者)

研修生：劉秀麗 遼寧省朝阳建平县病院 医師
馬海艷 遼寧省大石桥市中心病院 医師

3) 麻酔科分野.....6

指導教官：陳衛民 中国医科大学附属盛京病院 麻酔科 教授
(笹川医学奨学金制度第8期研究者)

研修生：崔昌実 遼寧省新宾满族自治县人民病院 医師
高原 遼寧省阜新市第二人民病院 医師
杜超 遼寧省朝阳市中心病院 医師

日本側専門家派遣：山本健 金沢大学医薬保健研究域医学系
(麻酔・蘇生学)教授
(派遣期間:2011年10月27日～30日)

(1) 産婦人科分野:

研修期間: 2011年11月1日から2012年1月31日まで

指導教官: 郭毅 中国医科大学附属第一医院 産婦人科 副教授
(笹川医学奨学金制度第28期研究者)

研修生: 孔繁明 遼寧省宽甸中心病院 医師

赵艳红 遼寧省喀左县第一人民医院 医師



学习进修总结

在中国医科大学附属第一医院妇产科进行了为期3个月的进修,在短短的3个月里,跟随郭毅老师学习腹腔镜手术及针对恶性肿瘤进行的手术,学习期间虽然短暂但收获很大。

通过此次进修,对于妇科的常见病及多发病的系统治疗和规范化治疗理念更加了解。掌握了妇科先进的腹腔镜等微创手术治疗方式、及恶性肿瘤的治疗。

进修中,附属第一医院妇科良好的团队精神和一切以患者为中心的服务理念深深的打动了。回到地方医院后,一定继续发扬医大医院的团队精神。进一步为地方医院服务。

最后感谢笹川記念保健協力財団为我提供的这次学习机会,使我在专业技术上有了很大的提高,回去以后我要把在这里学过的临床知识应用到地方医院的治疗工作上去,以病人为中心为患者提供优质服务,为当地的医疗服务做出应有的贡献。

进修生 孔繁明

研修の感想文

私は中国医科大学第一附属病院産婦人科で3か月間の研修を受けました。短い3か月間でしたが、郭毅先生の指導で腹腔鏡手術と悪性腫瘍に対しての手術を学習しました。研修期間は短かったですが、収穫は大きいです。

今回の研修として、婦人科の一般的な疾患と多発性疾患の治療理念を深く理解することができました。婦人科の先端的な治療方法である腹腔鏡などの低侵襲手術方法、悪性腫瘍の治療方法を身につけました。

研修を通じ、第一附属病院産婦人科のチームワーク精神と患者を中心としたサービス理念に感動しました。研修を終え、元の職場に戻ったら先端な理念を持って患者に良いサービスをします。

最後に、笹川記念保健協力財団から研修の機会をいただき、私の専門技術を大いに高めることができました。地元の地方病院に戻りましたら、今回の研修で得た知識を活用して、患者に良いサービスを提供し、地元医療事業に貢献いたします。

进修生 孔繁明

实习总结

首先我要感谢笹川記念保健協力財団、感谢中国医科大学附属一院公共事业部给了我这次学习的机会，同时也非常感谢医大的各位指导老师，是你们使我这个工作在偏远山区的医疗工作者对现代先进的医学知识有了更深一步的认识和理解。

通过这次短时间学习，使我对自己的未来有了新的航向，我要把医大一院的先进技术和知识带回我的家乡，学习和宣传他们浓厚的学习氛围，同时更要学习医大一院老师对待患者金子一般的心，我要尽我最大的努力来服务于家乡人民、造福人民，做到真正的医者仁心。

再一次感谢你们给了我这次学习的机会，同时也希望能创造更多这样的机会为我们同样工作在偏远山区的医疗工作者，谢谢！

进修医师：赵艳红（喀左县第一人民医院）

2011年1月10日

研修の感想文

まず、日本笹川記念保健協力財団と、中国医科大学第一附属病院公衆事業部から、この良い研修の機会を提供していただき、心から感謝の意を表します。同時に中国医科大学附属病院の各先生方に対して感謝いたします。先生方から医学の先端的な知識を教えていただき、地方病院の医療従事者の私は理解を深めることができました。今回の短期研修をとおして、自分の未来の方向性がわかりました。中国医科大学第一附属病院で研修した先端的な技術と知識を地元の病院に持ち帰ります。科室の皆さんの熱意を見て、大変勉強となりました。先生方の患者に対する最高の心配りは学ぶべきものでした。私は最大限努力して地元の患者に良いサービスを提供し、良い心を持つ医師になりたいと思います。

再度、中国医科大学の各先生方に感謝の意を申し上げます。今回のような研修のチャンスを多くの地方病院の医療従事者に提供いただきますこと希望いたします。ありがとうございました。

进修医师：赵艳红（喀左县第一人民医院） 2011年1月10日

(2) 超音波科分野:

研修期間: 2011年11月1日から2012年1月31日まで

指導教官: 阚艳红 中国医科大学附属第一病院 超音波科 副教授
(笹川医学奨学金制度 第29期研究者)

研修生: 刘秀丽 遼寧省朝阳建平县病院 医師
马海艳 遼寧省大石桥市中心病院 医師



刘秀丽总结

通过在中国医科大学附属一院超声科这段时间的学习,我感觉自己在超声诊断方面有了很大的提高,对各种疾病有了更深入透彻的理解,尤其是在乳腺及甲状腺超声诊断方面更细化,对肿瘤的分级能够掌握基本的要领,相信在以后的工作中会对临床医生有很大的帮助。超声治疗方面的学习是我此次学习的重点,现在能够熟练掌握适应症,在各位老师的悉心指导下初步掌握基本操作方法,有待于今后在工作中进一步摸索直至熟练。

非常感谢日本笹川記念保健協力財団提供的资助,感谢中国医科大学及医大一院的各位老师的教导,我一定努力学习,今后更好的为患者服务。

刘秀丽

劉秀丽的感想文

中国医科大学第一附属病院超音波室で三か月間の研修を受けました。私は超音波診断技術が大変進歩しました。超音波で各疾患の検査に対して深く理解できるようになりました。特に乳腺と甲状腺の超音波診断について細かい部分もわかるようになりました。腫瘍の分類について基本的な要領を身につけました。今後の仕事で患者の疾病検査は臨床医の判断には役に立つと思います。

超音波治療は今回研修で重点的に学習しました。今回、超音波治療の适应症に対する治療方法を身につけました。各先生方からの指導の下、基本的な操作方法を身につけました。今後更に練習を積んで上達するよう努力いたします。

日本笹川記念保健協力財団からの援助に対して心から感謝の意を申し上げます。

中国医科大学と第一附属病院の先生方の指導に対して、感謝いたします。
今後は、患者に良いサービスを提供できるよう更に頑張っていきます。

刘秀丽

学习总结

在深秋季节里，我来到了中国医科大学附属第一医院，开始了我为期三个月的腹部超声学习生活，在这段短暂的实习时间里，我们的收获很多很多，实习期间的收获将为我们今后工作和学习打下良好的基础。

第一，进一步巩固、提高了消化系统和泌尿系统的常见病及多发病的诊断理论；

第二，熟悉、强化了妇科疾病的诊断，为今后的工作打下了必要的坚实基础；

第三，了解了不曾接触过的骨骼、肌肉、关节疾病的图像诊断。

总之在感谢中国医科大学附属第一医院培养我们点点滴滴收获时，我将以更积极主动的工作态度，更扎实牢固的操作技能，更丰富深厚的理论知识，走上以后的工作岗位，提高临床工作能力，对卫生事业尽心尽责！

马海艳

馬海艳の感想文

深秋の候、私が中国医科大学第一附属病院に来ました。三か月間の超音波室での腹部超音波研修を受けに来ました。短い研修期間でしたが、今回の研修の収穫はたくさんありました。私たちにとって良い基礎固めとなり、今後の仕事と勉強に役立つと思います。

一、消化器官と泌尿器官の一般的な疾患と多発性疾患の診断理論を深く認識しました。

二、婦人科疾患の診断能力を強化し、今後の仕事の上での大事な基礎固めをすることができました。

三、以前は触れることがなかった骨格、筋肉、関節病気の影像診断を初めて理解しました。

中国医科大学第一附属病院では多くの収穫があり、大変感謝いたします。今後はもっと積極的な態度で、更に操作技術を向上させ、豊富な理論知識を得ながら、今後の臨床業務の能力を高め、衛生事業に頑張りたいと思います。

马海艳

(3) 麻醉科分野:

研修期間: 2011年11月1日から2012年1月31日まで

指導教官: 陳衛民 中国医科大学附属盛京病院 麻醉科 教授
(笹川医学奨学金制度 第8期研究者)

研修生: 崔昌実 遼寧省新賓満族自治县人民医院 医師
高原 遼寧省阜新市第二人民医院 医師
杜超 遼寧省朝阳市中心医院 医師



(研修生、中央: 山本健教授、中央左: 陳教授)

进修总结

本人在盛京医院麻醉科进修学习了三个月期间,在指导老师的引导下,基本完成了预期计划。如:腹腔镜手术的麻醉管理,喉罩置入在麻醉中的作用,小儿的麻醉管理,以及胸科手术双腔管的操作及管理技能,还有很多麻醉新药在不同麻醉方法上的应用。总之不论在基础理论,还是在实际操作上都有很大的收获。在学习期间,我认识到了做好病人的术前评估的重要性,术前是否有呼吸循环系统的并存病及病人的全身状况,麻醉前的准备是保证手术和麻醉成功的必要条件。

在此,感谢陈主任王老师给予的这次难得的学习机会,以及各反面给予的关爱,回到基层医院后,要把所学的知识运用到实际工作中,以更高的医疗服务质量和医疗安全服务与贫困地区的一方百姓,为麻醉事业贡献自己的毕生精力。

崔昌实 2012年1月31日

感想文

今回、私は中国医科大学盛京附属病院の麻醉科で三か月間の研修を受けました。指導教官の指導を受け、予定通りの計画を完了しました。

例えば:医学の基礎理論だけでなく、実際の操作技術もかなり向上し、多くの収穫を得ました。研修中に、患者に対しての術前の病状確認は大事なことであり、術前

に呼吸器と循環器疾患があるかどうかという患者の全身状況を知っていないと、手術は成功できません。ですから、麻酔の前にはいろいろな準備が必要です。

今回の研修で、陳主任、王先生には、このようなチャンスを提供していただき、いろいろな方面に配慮いただき、本当に感謝の意を申し上げます。地元の地方病院に帰りましたら、学習した知識を活用して仕事に取り組み、更に良い医療サービスを地元のみなさんに提供したいと思います。麻酔事業に貢献できるよう一生懸命頑張ります。

崔昌実 2012年1月31日

进修总结

通过三个月的进修时间，我在带教老师的悉心引导下学习了许多东西，使自己无论是在业务上水平上还是在与人沟通的技能上都有了一个质的提高。

在进修过程中，我在重新学习理论知识的同时虚心向带教老师请教，使我有很大提高，如能够简单掌握新生儿及小儿的麻醉方法及术中管理和怎样减少术后并发症。

不同

疾病的全麻术中管理。

在学习期间，我认识到做好病人的术前评估重要性。术前是否有循环系统呼吸系统及相关系统疾病，麻醉前的充分准备是保证手术成功的必要条件。

总的来说，在这次难得的进修学习中，我在自己的努力及带教老师的无私帮助下受益匪浅。我将在以后的工作中，把自己娴熟的业务水平及以人为本的交流技巧服务于更多的病人，真正做到学以致用！

高原 2012年1月31日

研修の感想文

この三か月間の研修を通して、指導教官の指導の下、多くのことを学習しました。自分の業務レベルと、患者との交流スキルも大変上達しました。研修中は、理論知識を復習して、指導教官にわからない点を聞き、大変進歩することができました。新生児と小児科の麻酔方法、術中の管理、術後合併症を減らす方法、各疾病の全身麻酔の管理方法を身につけました。

研修中に患者の術前の病状を評価することが一番大事なことです。術前には循環器と呼吸器の疾患があるかどうかを確認する必要があります。麻酔の前に十分に準備することは、手術の成功に必要な条件です。

今回の研修チャンスを得て、指導教官の指導の下で、自分の能力を向上させることができました。今後の業務で、自分の技術と患者中心の良いサービスを提供して、学習したことを実際に活用していきたいと思っています。

高原 2012年1月31日

进修总结

短短的三个月的进修时间就要到了，在这段时间里使我受益匪浅，我不仅在理论方面有了提高而且实际操作也有了很大提高。

我们每天早上八点在科里交班，还会有同学做病例汇报，然后有老师指正我们的不足，这样我们会进步更快，学得更多，基本功更扎实。我每天跟带教老师在手术间进行麻醉操作，当我有不足的地方他会细心指正出来，而且还会在空余时间告诉我一些关于麻醉方面的知识，他告诉我“麻醉最重要的是要管理好自己的病人，操作只是其次，只有做到这一点才是一个合格的麻醉医生。”

在这段时间里我在带教老师指导下进行较简单的各科手术麻醉。主要是纠正我们原有的错误理论和不规范操作，掌握和熟悉正规的椎管内麻醉、气管内全麻及神经阻滞操作，术中管理以及并发症预防等。为加强对病人的责任，认真掌握病情，要求进修医生对每一例拟施手术病人做到术前访视，并及时向带教老师汇报病情，在老师指导下写好麻醉实施方案(包括病情与手术的特点、拟用的麻醉方法、麻醉药种类及剂量、输液的种类和剂量、监测指标以及麻醉注意事项等)。

总之，通过这次难得的进修使我受益终生，我会将我所学到的知识运用到以后的工作中，做到学以致用。

杜超

研修の感想文

この短い三か月の研修がまもなく終わります。この研修によって、私は技術面で非常に上達することができました。理論の能力と、実際の臨床運用も高めることができました。

私たちは毎日朝8時から交替が始まります。研修生も病例を報告し、その後、指導教官が私たちの報告内容に対して指導して下さり、私たちの医学能力を更に向上させることができました。多くの医学知識を勉強し、基礎固めもできました。

私は毎日指導教官と一緒に手術室で麻酔の操作を行い、臨床を行う場合に何か不足するところがあったら、指導教官が詳しく説明して下さって、休みの合間を使って麻酔科に関する知識も教えて下さいました。

指導教官の陳先生は私に以下のことを教えて下さいました：

「麻酔で一番重要なことは自分の患者を心懸けて管理することです。麻酔の操作はそのあとのことです。」

研修中、先生の指導の下で、各科の簡単な麻酔手術に参加しました。間違った理論を訂正して下さり、正しくない操作を直して下さいました。硬膜外麻酔、気管内挿管全身麻酔、神経ブロックの操作、手術中の管理及び合併症の予防などの技術を把握することができました。

患者に責任を持ち、患者の病状を把握するために、術前の患者を診ることを医師に要求していました。指導教官に状況を報告し、指導教官の指導の下、麻酔実施計画を書くことができました(病状と手術の特徴、使う麻酔方法、使薬の種類と量、点滴の種類と量、監視のデータと麻酔注意事項など)。

今回の貴重な研修を受けることができたことは、私の人生に非常に役立つことだと思います。今後は、勉強した知識を実際の仕事に活用していきたいと思います。

杜超

以上